



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場会社名 鬼怒川ゴム工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5196 URL http://www.kinugawa-rubber.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関山定男  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 嶋津智昭 (TEL) 043(259)3114  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	36,494	0.0	3,007	△18.2	3,156	△21.9	1,902	△16.7
26年3月期第2四半期	36,492	5.8	3,675	△6.4	4,041	2.5	2,284	2.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,417百万円(△63.7%) 26年3月期第2四半期 3,902百万円(62.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	28.30	28.25
26年3月期第2四半期	33.98	33.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	64,825	31,925	47.7
26年3月期	61,038	31,535	50.0

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 30,937百万円 26年3月期 30,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
27年3月期	—	5.00			
27年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,500	2.6	8,600	17.9	8,600	6.4	5,000	6.5	74.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	67,299,522株	26年3月期	67,299,522株
27年3月期2Q	82,185株	26年3月期	79,060株
27年3月期2Q	67,218,570株	26年3月期2Q	67,231,005株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、以下のとおり決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

平成26年11月28日(金)・・・機関投資家向け決算説明会

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
※平成27年3月期第2四半期決算概要(参考資料)	

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動とその後の個人消費の回復の遅れにより、やや停滞気味に推移いたしました。また、海外では米国の景気が好調に推移した一方で、中国の経済成長の鈍化やアジア諸国の一部で経済の低迷が続いております。

当社グループの主要得意先の自動車生産は、前年同期比で国内は約2割弱の減少、海外は中国が前年同期並み、米州が約1割の増加、グローバルでは微増となりました。

このような状況の下で、当社グループは車体シール部品に加え防振部品・ホース部品のグローバル供給体制を拡充するとともに、原材料の現地調達や生産性向上などの活動に取り組んでまいりました。前期に発生した米州・タイでの新車部品の生産立上げに伴うロス、全社を挙げた生産準備活動及び生産管理システムの整備・充実により、大幅に減少いたしました。また、新拠点につきましては生産開始に関するグローバル標準を徹底し、進捗管理を充実することにより計画的に生産を開始しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、364億9千4百万円（前年同期比0.0%増）となりました。損益につきましては、資材調達や生産性向上などの合理化が米州の収益改善に効果を挙げましたが、利益率の高い日本における生産が減少したことなどにより、営業利益は30億7百万円（前年同期比18.2%減）、経常利益は31億5千6百万円（前年同期比21.9%減）、四半期純利益は19億2百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

## 〔日本〕

売上高は、主要得意先の自動車生産台数の減少により、211億2千6百万円（前年同期比6.0%減）となりました。営業利益は、操業度の低下と製品構成の変化により、16億5千万円（前年同期比27.8%減）となりました。

## 〔米州〕

売上高は、主要得意先の自動車生産台数の増加及びメキシコ拠点の生産能力拡大により、61億1千4百万円（前年同期比29.2%増）となりました。営業利益は、生産性の向上や材料歩留りの改善などの活動の効果により、1億1千8百万円（前年同期は1億9千8百万円の損失）となりました。

## 〔アジア〕

売上高は、中国での主要得意先の自動車生産の増加はあったもののタイの受注が減少したことにより、92億5千3百万円（前年同期比0.3%減）となりました。営業利益は、製品構成の変化及び得意先の生産開始遅延のため中国の新拠点で立上げロスが発生したことなどにより、12億9百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて現金及び預金が15億2千5百万円、受取手形及び売掛金が16億7百万円増加したことなどにより、29億2千9百万円増加の347億4千9百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて有形固定資産が4億8千6百万円増加したことなどにより、8億5千7百万円増加の300億7千6百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて37億8千6百万円増加の648億2千5百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて短期借入金が23億1千7百万円増加したことなどにより、22億3千5百万円増加の212億7千1百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて長期借入金が7億9千6百万円増加、退職給付に係る負債が3億9千9百万円増加したことなどにより、11億6千万円増加の116億2千8百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて33億9千5百万円増加の328億9千9百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が8億9千8百万円増加、為替換算調整勘定が7億1千6百万円減少したことなどにより、3億9千万円増加の319億2千5百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は59億4千9百万円と、期首に比べて15億2千5百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が29億8千7百万円、減価償却費10億9百万円、売上債権の増加20億7千4百万円、法人税等の支払額14億3千4百万円などにより、10億2千2百万円の増加（前年同期は33億2千5百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得18億3千万円などにより、23億2千7百万円の減少（前年同期は22億9千5百万円の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の増加33億9千7百万円、配当金の支払額3億7千万円などにより、30億1千4百万円の増加（前年同期は8億5百万円の増加）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期連結業績予想につきましては、平成26年8月7日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が667,814千円増加し、利益剰余金が667,814千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17,377千円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,424,339	5,949,665
受取手形及び売掛金	17,188,425	18,795,777
商品及び製品	1,392,679	1,543,552
仕掛品	1,292,862	1,331,867
原材料及び貯蔵品	2,655,705	2,839,739
その他	4,908,190	4,358,888
貸倒引当金	△42,474	△70,216
流動資産合計	31,819,728	34,749,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,163,598	5,005,857
機械装置及び運搬具(純額)	5,899,654	6,274,853
工具、器具及び備品(純額)	808,797	841,549
土地	10,456,799	10,429,513
建設仮勘定	1,827,832	2,091,529
有形固定資産合計	24,156,683	24,643,303
無形固定資産		
のれん	163,573	136,088
その他	454,480	412,478
無形固定資産合計	618,054	548,567
投資その他の資産		
投資有価証券	3,794,932	4,275,465
その他	681,718	640,616
貸倒引当金	△32,184	△31,484
投資その他の資産合計	4,444,466	4,884,597
固定資産合計	29,219,204	30,076,469
資産合計	61,038,933	64,825,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,245,306	9,173,249
短期借入金	4,452,772	6,770,643
1年内返済予定の長期借入金	682,950	730,000
未払費用	1,483,592	1,228,076
未払法人税等	1,464,198	1,053,740
賞与引当金	863,190	857,560
その他	1,843,444	1,457,922
流動負債合計	19,035,454	21,271,193
固定負債		
長期借入金	3,392,182	4,188,767
役員退職慰労引当金	38,383	43,276
退職給付に係る負債	4,360,512	4,760,356
その他	2,677,395	2,636,307
固定負債合計	10,468,473	11,628,708
負債合計	29,503,928	32,899,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,654,585	5,654,585
資本剰余金	849,597	849,597
利益剰余金	21,269,441	22,168,036
自己株式	△34,487	△35,993
株主資本合計	27,739,136	28,636,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,409	110,401
土地再評価差額金	2,471,580	2,471,580
為替換算調整勘定	1,937,413	1,221,216
退職給付に係る調整累計額	△1,718,001	△1,501,721
その他の包括利益累計額合計	2,772,401	2,301,476
新株予約権	57,981	73,042
少数株主持分	965,486	915,097
純資産合計	31,535,005	31,925,841
負債純資産合計	61,038,933	64,825,743



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	36,492,143	36,494,357
売上原価	29,532,266	30,104,195
売上総利益	6,959,877	6,390,162
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	846,454	890,501
従業員給料及び賞与	800,843	880,963
法定福利及び厚生費	199,266	204,036
退職給付費用	59,632	49,071
賞与引当金繰入額	105,658	109,755
役員退職慰労引当金繰入額	5,843	4,764
減価償却費	77,983	77,617
賃借料	84,582	74,690
消耗品費	72,049	60,349
のれん償却額	27,484	27,484
貸倒引当金繰入額	—	11,997
その他	1,004,294	991,599
販売費及び一般管理費合計	3,284,094	3,382,832
営業利益	3,675,783	3,007,330
営業外収益		
受取利息	24,183	34,513
受取配当金	3,218	3,680
持分法による投資利益	78,532	—
固定資産賃貸料	34,121	23,878
為替差益	211,798	294,074
助成金収入	5,387	—
その他	99,874	82,973
営業外収益合計	457,116	439,121
営業外費用		
支払利息	52,338	112,911
持分法による投資損失	—	131,300
貸倒引当金繰入額	—	14,000
その他	39,421	31,874
営業外費用合計	91,759	290,087
経常利益	4,041,139	3,156,364

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	815	77
特別利益合計	815	77
特別損失		
固定資産除却損	9,852	79,278
建物解体費用	—	61,400
割増退職金	6,881	13,042
事業構造改善費用	111,389	—
その他	—	15,158
特別損失合計	128,123	168,879
税金等調整前四半期純利益	3,913,831	2,987,561
法人税等	1,571,446	1,056,750
少数株主損益調整前四半期純利益	2,342,384	1,930,811
少数株主利益	57,810	28,299
四半期純利益	2,284,573	1,902,512

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,342,384	1,930,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,034	28,992
為替換算調整勘定	1,335,878	△648,427
退職給付に係る調整額	—	216,280
持分法適用会社に対する持分相当額	196,232	△110,515
その他の包括利益合計	1,560,144	△513,670
四半期包括利益	3,902,529	1,417,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,717,426	1,431,587
少数株主に係る四半期包括利益	185,102	△14,446

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,913,831	2,987,561
減価償却費	1,005,417	1,009,114
のれん償却額	27,484	27,484
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,178	27,499
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△25,578	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△50,695
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,641	4,893
受取利息及び受取配当金	△27,401	△38,194
支払利息	52,338	112,911
有形固定資産売却損益(△は益)	△815	△77
有形固定資産除却損	9,852	79,278
持分法による投資損益(△は益)	△78,532	131,300
売上債権の増減額(△は増加)	△1,616,425	△2,074,483
たな卸資産の増減額(△は増加)	△233,719	△506,416
仕入債務の増減額(△は減少)	1,681,593	1,181,878
未払消費税等の増減額(△は減少)	29,087	120,051
その他	△158,376	△480,410
小計	4,573,218	2,531,697
利息及び配当金の受取額	27,401	38,194
利息の支払額	△52,252	△112,821
法人税等の支払額	△1,223,124	△1,434,113
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,325,242	1,022,956
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,493,979	△1,830,405
有形固定資産の売却による収入	2,622	2,861
投資有価証券の取得による支出	△1,019,748	△688,530
その他	215,314	188,173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,295,790	△2,327,900
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△69,629	2,446,181
長期借入れによる収入	2,145,868	1,400,838
長期借入金の返済による支出	△893,539	△449,691
自己株式の取得による支出	△2,884	△1,506
配当金の支払額	△268,933	△335,221
少数株主への配当金の支払額	△89,452	△35,252
その他	△15,787	△10,923
財務活動によるキャッシュ・フロー	805,642	3,014,423
現金及び現金同等物に係る換算差額	255,929	△184,153
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,091,024	1,525,326
現金及び現金同等物の期首残高	2,959,755	4,424,339
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,050,779	5,949,665

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,473,381	4,733,911	9,284,850	36,492,143	—	36,492,143
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,192,756	—	253,662	1,446,419	△1,446,419	—
計	23,666,138	4,733,911	9,538,513	37,938,562	△1,446,419	36,492,143
セグメント利益又は損失(△)	2,287,761	△198,691	1,521,736	3,610,806	64,977	3,675,783

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,126,368	6,114,712	9,253,276	36,494,357	—	36,494,357
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,616,026	26,157	318,841	1,961,025	△1,961,025	—
計	22,742,395	6,140,869	9,572,118	38,455,383	△1,961,025	36,494,357
セグメント利益	1,650,979	118,703	1,209,778	2,979,460	27,869	3,007,330

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更に関する事項

会計方針の変更等に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「日本」のセグメント利益が17,377千円増加しております。

参考資料

平成27年3月期 第2四半期 決算概要

【連結決算】

1. 業績

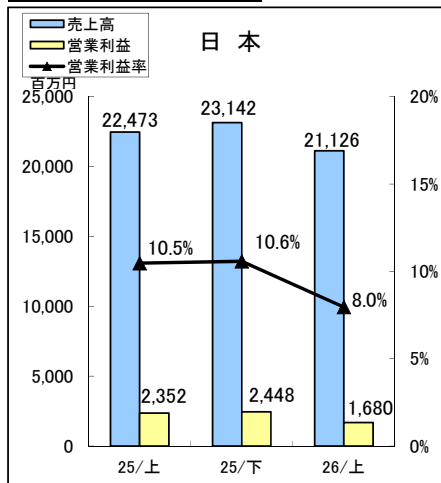
区分	当第2四半期 累計期間実績 (H26/4~H26/9)		前第2四半期 累計期間実績 (H25/4~H25/9)		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	36,494	100%	36,492	100%	2	0.0%
営業利益	3,007	8.2%	3,675	10.1%	△668	△18.2%
経常利益	3,156	8.6%	4,041	11.1%	△885	△21.9%
四半期純利益	1,902	5.2%	2,284	6.3%	△382	△16.7%
1株当たり 四半期純利益	28.30 円		33.98 円		△5.68 円	

2. 貸借対照表

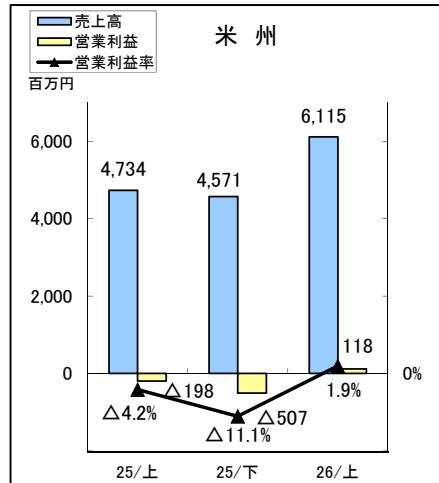
科目	資産の部			負債・純資産の部			
	第2四半期	前期	増減	科目	第2四半期	前期	増減
流動資産	34,749	31,819	2,930	流動負債	21,271	19,035	2,236
現・預金	5,950	4,424	1,526	買入債務	9,173	8,245	928
売掛債権	18,796	17,188	1,608	借入金	7,501	5,136	2,365
棚卸資産	5,715	5,341	374	その他	4,597	5,654	△1,057
その他	4,288	4,866	△578	固定負債	11,629	10,469	1,160
				借入金	4,189	3,392	797
				退職給付負債	4,760	4,360	400
				その他	2,680	2,717	△37
				(負債計)	32,900	29,504	3,396
固定資産	30,076	29,219	857	株主資本	28,636	27,739	897
有形固定資産	24,643	24,157	486	資本金	5,654	5,654	-
無形固定資産	548	618	△70	資本剰余金	850	850	-
投資その他	4,885	4,444	441	利益剰余金	22,168	21,269	899
				自己株式	△36	△34	△2
				評価・換算差額等	2,301	2,772	△471
				新株予約権	73	58	15
				少数株主持分	915	965	△50
				(純資産計)	31,925	31,534	391
合計	64,825	61,038	3,787	合計	64,825	61,038	3,787

注)主なB/S指標		
自己資本比率	47.7%	50.0% △2.3%
総資本回転率	1.1回	1.2回 △0.1回
総資本経常利益率	10.0%	14.7% -
DER	0.4倍	0.3倍 △0.1倍

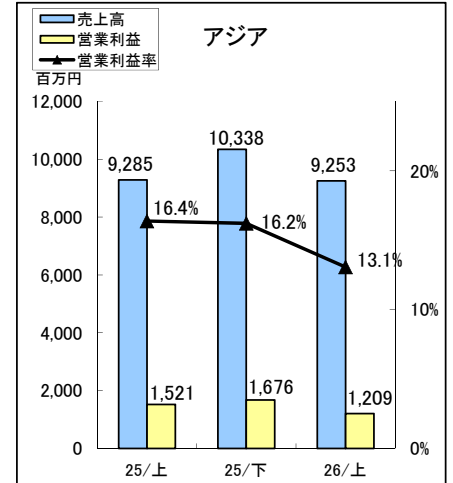
3. 地域別セグメント情報



操業度の低下と製品構成の変化により、減収減益となった。

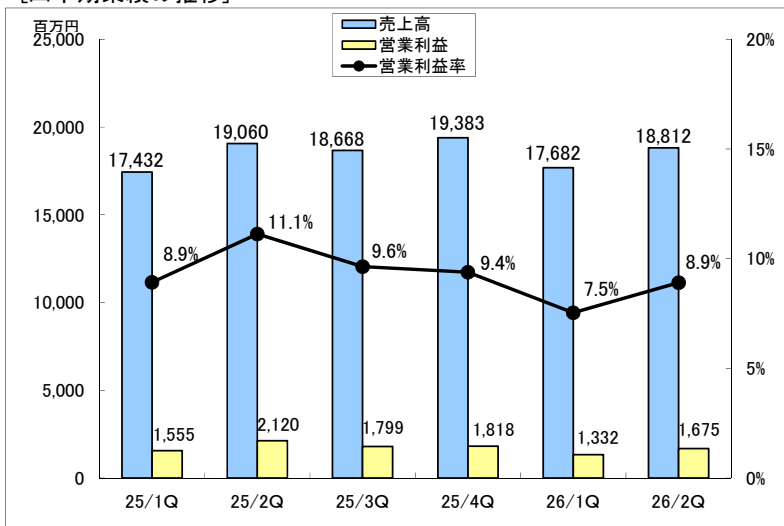


生産性の向上や材料歩留りの改善などの活動の効果により、増収増益となった。



製品構成の変化及び得意先の生産開始遅延のため中国の新拠点で立上げロスが発生したことなどにより、減収減益となった。

【四半期業績の推移】



【当第2四半期の主な活動内容】

- 短期収益の確保
  - 現地スタッフが自主自立で主導した、生産性の向上や廃却ロスの削減などの活動
  - 資材、部品の現地化  
樹脂材料及び金具など、現地材料の採用を拡大
- 売上の拡大
  - 重点顧客を中心とした受注拡大  
中国における日産及び日系メーカー、中国民族系メーカーへの車体シール部品の拡販
  - 防振部品、ホース部品のグローバル拠点展開  
鬼怒川蕪湖(中国)、メキシコで防振部品の生産を開始  
メキシコ、タイでホース部品の生産を開始
- 仕事の質向上
  - 拠点、設備、新車立上げ及び拠点運営の質の向上  
標準化・基準化・現地語化された手順書によるスキル向上  
生産管理システム・現場管理教育のグローバル展開